

日本教育経営学会 第 59 回大会プログラム

会場 名古屋大学(東山キャンパス)

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

期間 2019年6月7日(金) ~ 9日(日)



日本教育経営学会 第 59 回大会実行委員会

主催：日本教育経営学会・名古屋大学大学院教育発達科学研究科

ごあいさつ

日本教育経営学会第59回大会 実行委員会
委員長 植田健男（花園大学・名古屋大学名誉教授）

この度、日本教育経営学会第59回大会を、名古屋大学（東山キャンパス）を会場として、2019年6月7日（金）から9日（日）にかけて開催させて頂くことになりました。

今大会のプログラムとしては、会員の皆さまの研究発表の場である自由研究発表に加え、課題研究、実践研究フォーラム、ラウンドテーブル、関係機関連携担当理事による新企画などを予定しています。また、公開シンポジウムは、「新学習指導要領のもとでの『教育課程経営』の理論的・実践的課題」をテーマとして、天笠茂（千葉大学特任教授）、石井英真（京都大学准教授）、首藤隆介（名古屋市立駒方中学校教諭）のお三方にご登壇頂き、今次学習指導要領改訂の大きな柱の一つである「教育課程経営」について議論したいと考えています。実際には、もっぱら「カリキュラムマネジメント」という言葉が先行していますが、この機会に改めて「教育課程経営」の理論と実践について議論することとし、ここに至る国での論議の経緯とそこから明らかになってきた課題、また、この領域において密接な関連のある教育方法学分野での知見とも突き合わせ、さらに学校現場における議論状況にも触れるかたちで、その到達点と今日的課題を深めたいと考えております。

要員の人員が限られていることに加えて、経験の継承が十分ではない中での久しぶりの大会開催となり、行き届かない点多々あることとは存じますが、大会実行委員一同、精一杯準備に努め、最初から最後まで快適に議論ができる場を提供させて頂きたいと思っております。皆さまの積極的なご参加とご理解を、心よりお願い申し上げます。

第 59 回大会プログラム目次

大会日程および会場	3
大会参加について（ご案内）	4
自由研究発表要領	5
交通案内	6
キャンパスマップ	6
会場マップ	7
第 1 日 6 月 7 日（金）	
若手研究者のための研究フォーラム	9
ラウンドテーブル	10
関係機関連携担当企画：ラウンドテーブル	11
第 2 日 6 月 8 日（土）	
自由研究発表 1	12
自由研究発表 2	13
自由研究発表 3	14
自由研究発表 4	15
自由研究発表 5	16
公開シンポジウム	17
総会、懇親会	18
第 3 日 6 月 9 日（日）	
自由研究発表 6	19
自由研究発表 7	20
自由研究発表 8	21
自由研究発表 9	22
自由研究発表 10	23
課題研究	24
実践研究フォーラム	25

大会日程および会場

6月7日(金)

12:00~	受付	教育学部1階 玄関
13:00~15:00	紀要編集委員会 研究推進委員会 実践推進委員会 国際交流委員会	教育学部1階 第1講義室 文系総合館2階 会議室・応接室① 文系総合館2階 会議室・応接室② 教育学部1階 会議室
15:15~17:15	理事会 若手研究者のための研究フォーラム	教育学部1階 大会議室 教育学部2階 第3講義室
17:30~19:30	ラウンドテーブル 関係機関連携担当企画:ラウンドテーブル	教育学部2階 大講義室 文系共同館2階 E演習室+F演習室

6月8日(土)

8:00~	大会受付・学会受付	教育学部1階 玄関
9:00~12:00	自由研究発表1 自由研究発表2 自由研究発表3 自由研究発表4 自由研究発表5	教育学部1階 第1講義室 教育学部1階 第2講義室 教育学部2階 第3講義室 教育学部2階 大講義室 文系共同館2階 E演習室+F演習室
12:00~13:30	昼食	
13:30~16:30	公開シンポジウム	IB電子情報館2階 大講義室
16:45~17:45	総会	IB電子情報館2階 大講義室
18:15~20:00	懇親会	南部生協 Mei-dining

6月9日(日)

8:00~	大会受付・学会受付	教育学部1階 玄関
9:00~12:00	自由研究発表6 自由研究発表7 自由研究発表8 自由研究発表9 自由研究発表10	教育学部1階 第1講義室 教育学部1階 第2講義室 教育学部2階 第3講義室 教育学部2階 大講義室 文系共同館2階 E演習室+F演習室
12:00~13:00	昼食	
13:00~16:00	課題研究	教育学部2階 大講義室
13:00~16:00	実践研究フォーラム	文系共同館2階 E演習室+F演習室

会員控室	文系共同館2階 G演習室 (7日(金)は第2講義室)
学会本部	教育学部1階 小会議室
大会実行委員会本部	教育学部1階 小会議室
公開シンポジウム打ち合わせ	教育学部1階 会議室
課題研究打ち合わせ	教育学部1階 会議室
実践研究フォーラム打ち合わせ	教育学部1階 大会議室

大会参加について(ご案内)

1. 参加申込の手順

(1)大会参加・懇親会申込

同封の葉書で大会・懇親会へのご出欠をお知らせください。総会ご欠席の方は委任状へのご記入もよろしく願いいたします。5月27日(月)までにご投函ください。

(2)参加費・懇親会費について

大会の参加費、懇親会費は以下の通りです。

大会参加費	正会員（学生除く） 臨時会員	3,000 円
	学生会員（常勤の職を有さない学生に限る）	1,000 円
懇親会費（一律）		4,000 円

2. 受付

6月8日(土)、9日(日)の両日とも、教育学部1階 玄関にて、学会受付と大会受付を行います。学会費(～2019年度)の納入がお済みでない会員におかれましては、学会受付にてお納めください。

3. 懇親会

日時：6月8日(土) 18:15～20:00

会場：名古屋大学 南部生協 Mei-dining

4. 昼食

学内には、生協食堂、カフェ、コンビニエンスストア等がございます。6月8日(土)には生協食堂をご利用いただけますが、9日(日)は、営業しておりません。山手通り沿い(学外)にいくつか飲食店がございますが、会場からは距離がありますので、ご注意ください。

5. 宿泊

各自でのご予約をお願いいたします。

6. その他

第59回大会では、紙媒体での発表要旨集録を配布せず、学会ウェブサイトからダウンロードしていただきます。詳細については、後日、学会ホームページに掲載します。

自由研究発表要領

1. 発表時間

自由研究発表の時間は、以下の通りです。

- (1) 発表者が1名の場合：発表時間 20分＋質疑 5分（計 25分）
- (2) 発表者が複数の場合：発表時間 40分＋質疑 10分（計 50分）
- (3) 共同討議の時間は 25分です。

※ 共同研究の場合にはプログラムのお名前に○印を付した方が口頭発表者になります。

2. 発表機材

プロジェクターをご利用の場合は、コンピュータをご持参ください。各会場には、プロジェクター、スクリーン、標準的なミニ D-Sub15 ピンを装備したケーブルを用意しています。Mac などの PC をご使用の場合は、ミニ D-Sub15 ピン端子に接続可能な変換アダプタなど、必要な機材をご持参ください。なお、各会場において開始 20 分前より接続のテストができるようにしておきます。発表者の責任において接続の確認をしてください。

3. 発表資料

当日、発表資料を配布予定の方は、不足が生じないよう必要部数（各自 70～100 部を目安）をご持参の上、該当会場の係員にお渡しください。資料配布机に置く形で配布させていただきます。発表直前に大会要員が配布するという形ではありませんので、ご注意ください。

※資料の複写等のご要望には、大会実行委員会としてお応えできません。

※発表資料等の送付はご遠慮ください。紛失等の事故が生じることがあります。

4. 発表の取り止めについて

万一、お申込まれた発表を取り止める場合は、必ず事前に大会実行委員会の下記連絡先までご連絡ください。発表者が欠席の場合は、発表時間の繰り上げはせず、質疑・休憩の時間に割り当てます。

大会前（～6月6日）の連絡先：jasea2019@gmail.com

大会期間中（6月7日～9日）の連絡先：090-3977-5878（南部）

5. その他

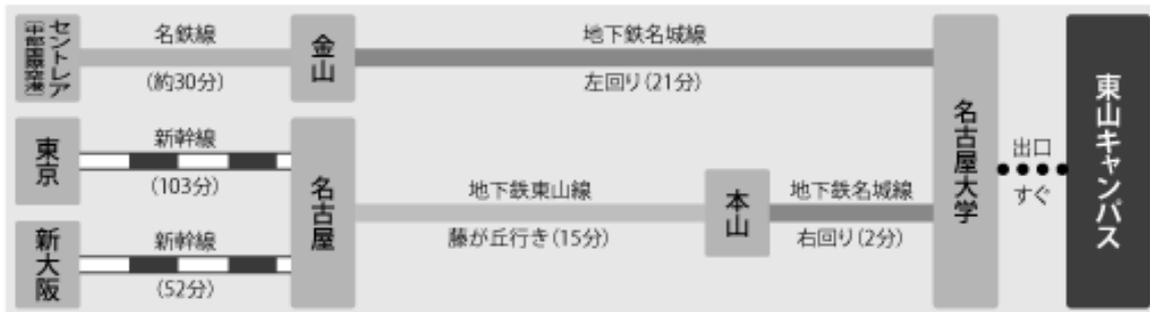
発表者は、指定発表開始時間にかかわらず、会場の開始 10 分前までに司会者に出席を通知してください。

交通案内

○キャンパスの詳細な地図・アクセスにつきましては、ウェブサイトの情報をご確認ください。

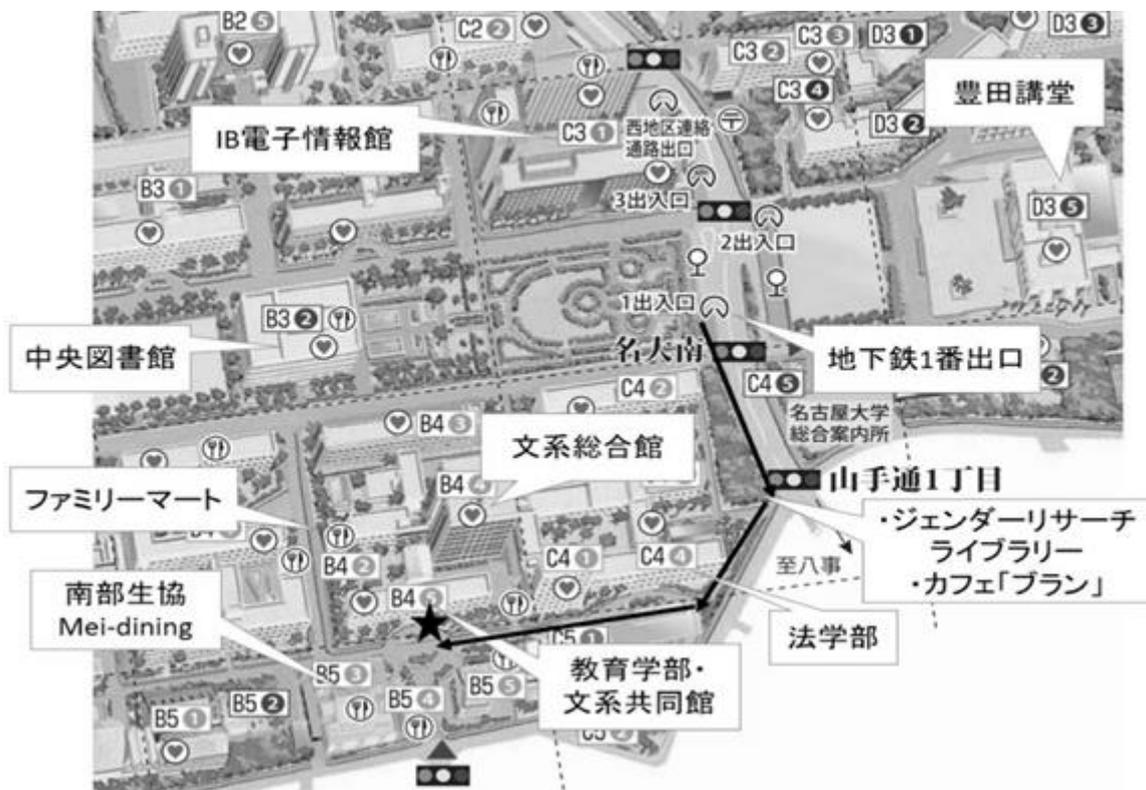
<http://www.nagoya-u.ac.jp>

○最寄り駅：名古屋市営地下鉄・名城線 名古屋大学駅

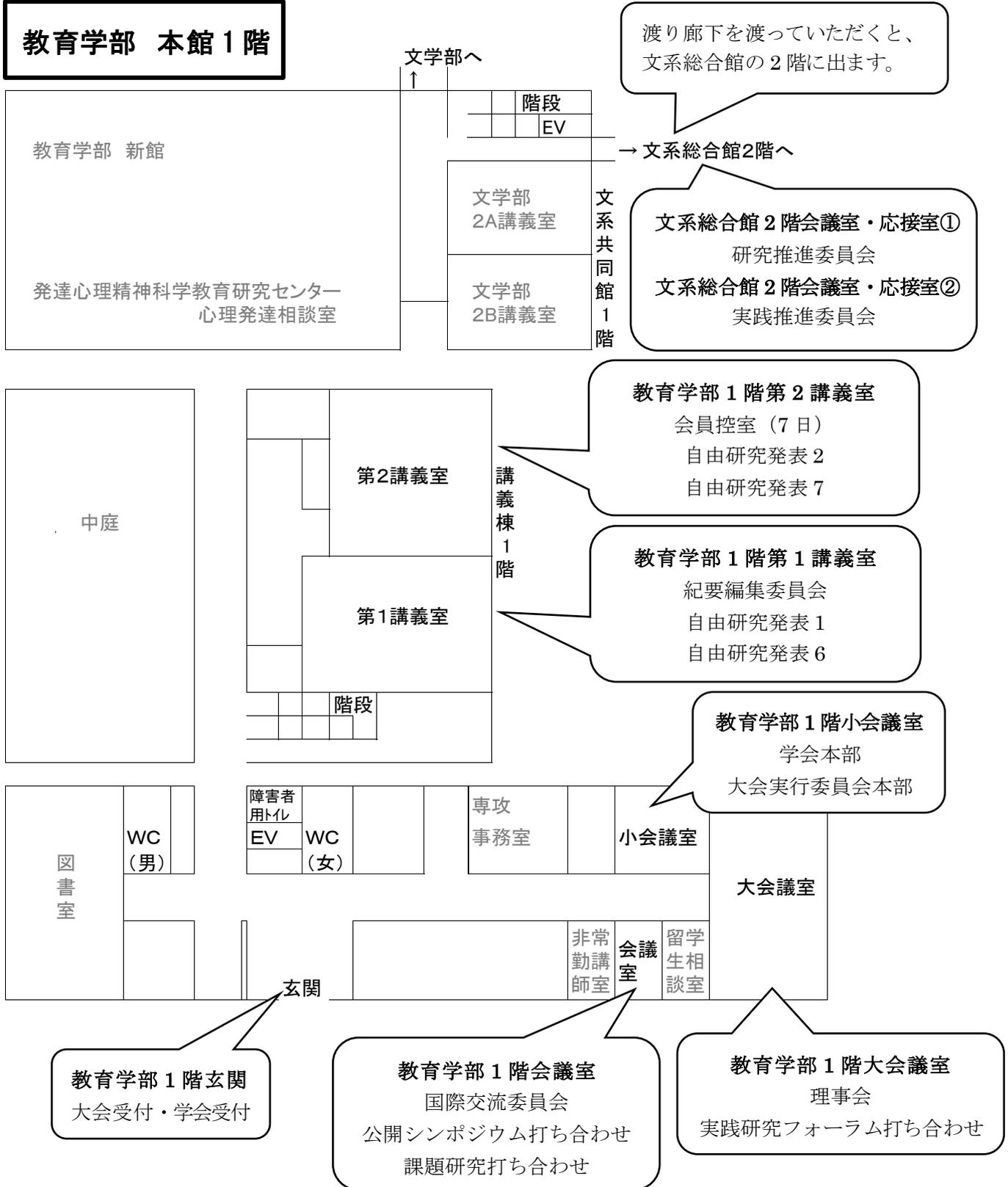


※ 名古屋大学駅「一番出口」より地上に上がり、「山手通 1 丁目」の交差点方面に直進してください。「山手通 1 丁目」交差点付近の「ジェンダーリサーチライブラリー」・「カフェ『ブラン』」を斜め右に曲がって、「法学部」前の道を直進すると、教育学部 1 階玄関（大会受付）です。詳細は下記キャンパスマップの誘導矢印をご参照ください。

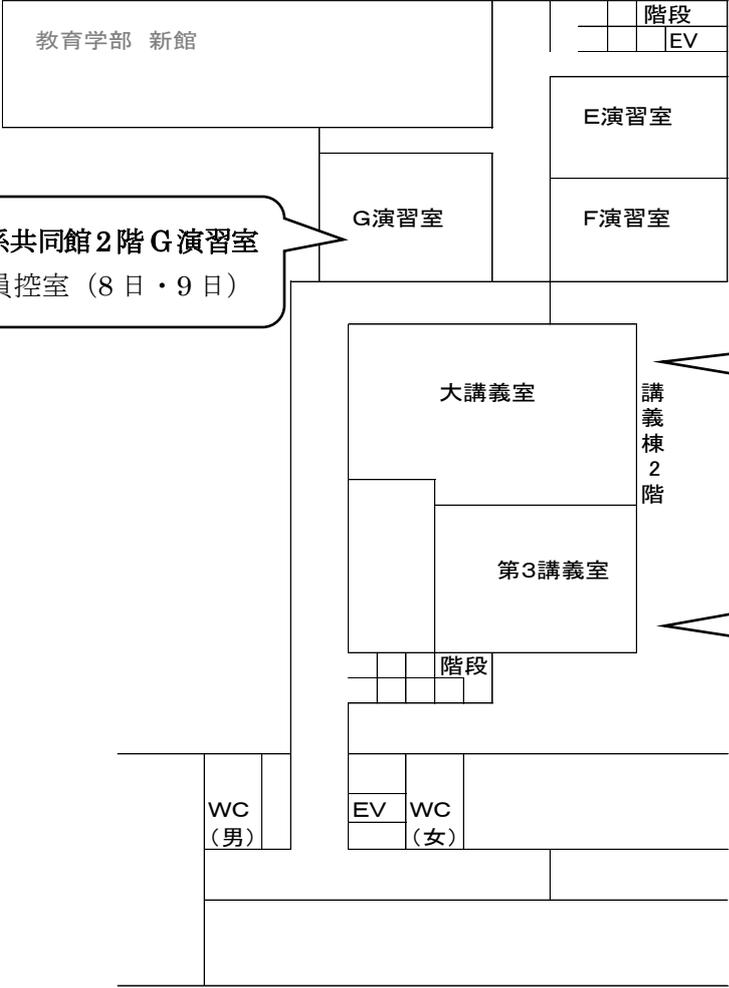
キャンパスマップ



会場マップ



教育学部 本館 2階



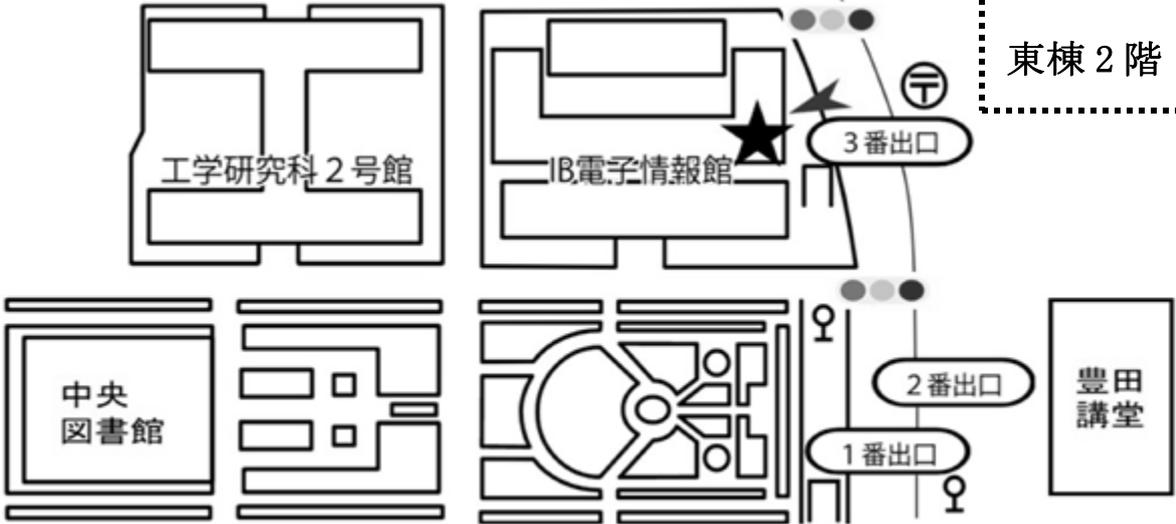
文系共同館2階 G演習室
会員控室 (8日・9日)

文系共同館 2階
E演習室 + F演習室
関係機関連携担当企画: RT
自由研究発表 5
自由研究発表 10
実践研究フォーラム

教育学部 2階大講義室
ラウンドテーブル
自由研究発表 4
自由研究発表 9
課題研究

教育学部 2階第3講義室
若手研究者のための研究フォーラム
自由研究発表 3
自由研究発表 8

IB 電子情報館 (公開シンポジウム・総会)



名古屋大学駅
3番出口直結
東棟2階

6月7日（金）15：15～17：15

会場：教育学部2階第3講義室

若手研究者のための研究フォーラム

若手のネットワークと活動をどう考えていくか

司会・話題提供者：末松裕基（東京学芸大学）

【趣旨説明】

今大会より、これまでの「若手研究者のためのラウンドテーブル」を発展させる形で、「若手研究者のための研究フォーラム」を開催いたします。今回のフォーラムでは、“若手のネットワークと活動をどう考えていくか”をテーマに、学会若手ネットワーク担当の末松が司会及び話題提供を行い、これからの三年間の方向性を提案、検討する機会にしたいと思っております。具体的には、①学会での若手問題への対応、②学術会議若手ネットワークへの対応、について議論、共有していく予定です。

学会での若手問題については、2013年の第53回大会より「若手研究者のためのラウンドテーブル」が再開され、試行錯誤を重ねながら、毎年、少しずつ交流が深まり、いい流れができてきました。日々大きく変化する研究環境に流されずに、着実に交流を進めていく重要性を確認するとともに、若手研究者を取り巻く環境を分析し、今後の教育経営研究の方向性を考えてきました。その過程で、若手の職務上の苦労話に議論が偏ることもありましたが、若手が置かれた環境の分析に加えて、それを乗り越える研究の構想、実施の必要性を認識するに至り、学会の将来を見据えながら若手らしく挑戦的な研究はいかにありえるかを考えてきました。

そして、2016年の第56回大会からは「研究環境を分析する」段階を終え、「新しいテーマのあり方」を議論するために、運営の推進・調整を図る若手担当に加えて、三年間を通じた世話人が企画・運営を担う体制を整え、「転換期における新しい教育経営学を探究する—若手研究者が考える新たな研究テーマと課題」と題して議論を進めてきました。実践に対する研究者のスタンス、政策との向き合い方などを議論するなかで、研究とはなにか、科学とはなにかといった根本的な問いにも向き合い、学問の独自性の追究や継承発展の姿勢そのものを問い直すことを意識してきました。

また、学術会議若手ネットワークについては、若手研究者の相互交流事業が学会間で継続的な課題になっており、教育学の関連学会でも若手主体の活動が活発になってきています。それらと本学会の活動の関係性、各学会の活動の独自性などを相互に検討し、学会内の若手交流とともに、中長期的な課題として学会間ネットワークのあり方を考えていきたいと思っております。

本フォーラムでは、以上の若手問題の各事項についての議論、共有のほか、若手図書の合評会、教育経営学の知的蓄積の検討、今後の学問のあり方を議論し、学会の枠を超える自主的な取り組みの可能性も含めて、継続的に交流やアイデア交換をしていきたいと思っております。研究上の共通言語のようなものがなかなか成立しにくい時代にはなっていますが、若手会員がお互いに考えていること、学問のこれから、学会全体のあり方を語るような場所や機会が存在し、交流のあり方そのものについても協議される空間をつくっていききたいと思っております。

若手ならではの自由な視座をもとに、多くの参加者の意見交流によって、これからの教育経営学のあり方を議論していければと思いますので、よろしくお願いたします。

（企画・文責：若手ネットワーク担当 末松裕基）

6月7日（金）17：30～19：30

会場：教育学部2階 大講義室

ラウンドテーブル

「実践研究」の方法論についての探究

司会：露口健司（愛媛大学）

コーディネーター：倉本哲男（愛知教育大学）

【趣旨説明】

教育経営研究のフィールドへの、実務家教員と教職大学院生の参入が顕著である。これらの新規参入者が着手する研究とは、多くの場合「実践研究」である。「実践研究」とは、実践過程において生成する現象を質的・量的データの分析・考察を通して解明する研究である。著者の一部が実践の当事者であることを、「実践研究」の特徴として位置づける学会もある。国際学会ジャーナルでは、「実践研究」のフレームとして、目的・背景・先行研究・研究課題・方法・分析・考察・実践的示唆・限界・参考文献・資料等の観点が設定されている。自己の実践を紹介する「実践報告」とは、実践研究フレームの有無で区分することができる。

「実践研究」の進展とともに、学会には、「実践研究」の方法論の探究が求められる。上述内容は、「実践研究」に対する捉えの一例であり、学会をあげての議論が必要となる。本ラウンドテーブルでは、「実践研究」の方法論を検討していく上での材料を、4名の研究者から提案していただく。これら4名は、それぞれ、教育経営現象を社会学・心理学・経済学等の視点からアプローチしている会員である。現職教員等が活用可能な具体的方法論についてご提案いただく。また、コーディネーターとして、「実践研究」を語る上で避けることのできないアクションリサーチやEd.Dに関する研究業績を持つ会員を配置する。

【提案者】

実践研究における質的アプローチ—意義と課題—

柏木智子（立命館大学）

実践研究におけるテキストマイニングの可能性

生田淳一（福岡教育大学）

実践研究における計量分析—Excelで出来る分析・出来ない分析—

高木亮（就実大学）

実践研究における計量分析—応用編—

神林寿幸（明星大学）

6月7日(金) 17:30~19:30 会場:文系共同館2階 E 演習室+F 演習室

関係機関連携担当企画:ラウンドテーブル

「社会総掛かりでの教育」の実現に向けての研究課題

【趣旨説明】

今期、常任理事会において「関係機関連携担当」が新設された。「今後の教育経営を考えた場合、学校教育と家庭教育ないし社会教育の連携を考慮することが不可欠」との佐古秀一会長の思いを受け、関係機関との連携の原則や、連携の際の学会のスタンス等について、方針を検討していくこととなった。『日本教育経営学会ニュース 2018年度第1号』に掲載されている会長の就任挨拶では、我が国の学校教育にとって重要な課題として、「多様な関係者との連携協働のもとで機能する学校づくりとそのような学校をマネジメントする人材養成」を挙げ、我々の学会がこうした課題に密接に関連した研究を行い、これらの課題に対して対峙する役割を有していることを提示されている。

本担当者自身も、先期研究推進委員会の共同研究「日本型教育経営システムの有効性に関する研究:新たな学校像における教育の専門性」において、子どもの学校での生活機能の多様化に応じ、学校に置かれる職種が増え、それに伴い教職員組織も多様化・複雑化する中で、教授機能を担う職と管理機能、生活・福祉的機能を担う職との実態上の分担をどのように整理すればよいのかを問うとともに、学校という「場」のもつ意味そのものの変容に着目してきた。そして、これからの人口減少時代、生き残りをかけたそれぞれの「地方」において「プラットフォームとしての学校」をいかに経営していくのが、現実的な課題となっていくと考えている。

これは、我々の学会こそが扱おうとする課題ではないだろうか。なぜなら、我々の学会が冠する「教育経営」は、教育をめぐる社会システムの相互の関連性とプロセスに着目しつつ、よりトータルに把握できる概念であるからである。学校、保護者・地域住民、教育行政機関はもとより、心理や福祉の領域における関連機関等も含めたアクター間のダイナミックな関わりを分析していくことが求められているのであり、そのための基盤づくりに、微力ながら貢献できればと考えている。

これまで便宜的に区別してきた学校教育、家庭教育、社会教育をつないで理解していくために、まずは、家庭教育との連携について考えてみたい。そこで今回は、関係機関連携担当企画として、家庭教育に関わる日本PTA全国協議会の方をお招きして、学校後援会的なPTAだけでなく、学校運営そのものに実質的に関わっているPTAの事例や、逆に困難な事例等についてご紹介いただく予定である。

政策上、学校運営協議会と地域学校協働本部を実質的に機能させることによって、「社会総掛かりでの教育」を実現していくという構想が描かれており、そこでPTAの果たす役割は大きい。学校の中での活動にとどまらず、より大きな「地域」という舞台で活躍することが求められており、また、PTA活動がそうした人材育成機能をも有している。今回のラウンドテーブルが、これからの教育の在り方についてともに考えるきっかけとなることを期待している。

話題提供:日本PTA全国協議会副会長(石川県PTA連合会) 北川和也

名古屋大学 南部初世

司 会:筑波大学 浜田博文

(企画・文責:関係機関連携担当 南部初世)

6月8日(土) 9:00~12:00

会場:教育学部1階 第1講義室

自由研究発表 1

司会 大野裕己 (滋賀大学) 本図愛実 (宮城教育大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	中国農村地域におけるスクールリーダー養成制度の意義と課題 —中西部の学校管理職へのヒアリング調査を基に— ○殷爽 (九州大学大学院生)
9:30~9:55	スクールリーダー養成には何が必要か : 研究知と実践知の対話の一助になれば~5年間の校長通信をもとに~ ○松宮孝明 (滋賀県草津市立笠縫東小学校)
9:55~10:20	戦略クラフティングの発想に基づくスクールリーダー教育に関する考察 —I.H.ライソの協働的な省察的実践としてのマネジメント学習論に着目して— ○山本遼 (東九州短期大学)
10:20~10:45	校内研究における教師の集団での学習成立過程にみられる特徴とその促進要因に関する一考察 ○高谷哲也 (鹿児島大学)
10:45~11:10	教師のライフコース研究を拓く —スクールリーダーの実践研究— ○大脇康弘 (関西福祉科学大学)
11:10~11:35	新任教員の勤務実態と職能成長 —A 県初任者の3年間の追跡調査からわかること— ○妹尾渉 (国立教育政策研究所) 梅澤希恵 (国立教育政策研究所) 川上泰彦 (兵庫教育大学)
11:35~12:00	共同討議

6月8日(土) 9:00~12:00

会場:教育学部1階 第2講義室

自由研究発表 2

司会 福本みちよ (東京学芸大学) 北神正行 (国土館大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	私立キリスト教系中学高等学校の経営方針に対し宗教科教員が抱く葛藤とその受容に関する一考察 ○李愛慶 (東京大学大学院生)
9:30~9:55	オーブンプラン・スクールの検証 (その3) 一言説の整理を中心に— ○藤原直子 (九州大学学術協力研究員)
9:55~10:20	学級活動におけるライフスキルの獲得 ○山西哲也 (淑徳大学)
10:20~10:45	望ましい「人間関係形成能力」の育成に焦点化した学校改善と教頭の役割 ○井上博文 (札幌市立札幌中学校)
10:45~11:10	アメリカ・イリノイ州における認証評価を通じた市民性教育の改善支援の試み —「イリノイ・デモクラシー・スクール」の事例分析— ○古田雄一 (大阪国際大学短期大学部)
11:10~11:35	ドイツにおける民主主義的な学校文化形成の取り組み ○柳澤良明 (香川大学)
11:35~12:00	共同討議

6月8日(土) 9:00~12:00

会場:教育学部2階 第3講義室

自由研究発表 3

司会 富樫千紘 (和光大学) 林 孝 (広島大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	昭和初期の山梨県における郷土教育運動の展開 ○梶原正史 (兵庫教育大学大学院生)
9:30~9:55	東井義雄のいのちの教育に関する一考察 ○齋藤義雄 (東京家政学院大学)
9:55~10:20	災害経験の継承を目的とした教育課程の編成・実施に関する研究 —東日本大震災後の浪江小学校における郷土学習の事例分析— ○吉田尚史 (独立行政法人教職員支援機構)
10:20~10:45	センスメイキング・プロセスとしての教師の危機管理に関する考察 ○田中直哉 (石川県立松任高等学校)
10:45~11:35	熊本地震における学校再開プロセス ～他分野研究の動向と教育経営学的アプローチの可能性 ○元兼正浩 (九州大学) ○鄭修娟 (九州大学大学院生) ○柴田里彩 (九州大学大学院生) ○原北祥悟 (第一工業大学)
11:35~12:00	共同討議

6月8日(土) 9:00~12:00

会場:教育学部 2階 大講義室

自由研究発表 4

司会 雲尾 周 (新潟大学) 前原健二 (東京学芸大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	女性管理職のキャリアと学校組織認識に関する検討 ○石崎ちひろ (常磐短期大学)
9:30~9:55	校長・ミドルリーダーのリーダーシップに着目した学校組織開発のプロセスに関する実践的研究 —高等学校における2年間の実践を分析事例として— ○前田良隆 (大阪府教育庁)
9:55~10:20	学校改革における校長の職責 —富山大学人間発達科学部附属特別支援学校における4年間の取組— ○竹村哲 (富山大学)
10:20~10:45	校長の学校経営スタイル形成過程について ～教育行政が与える影響力に着目して～ ○飛田祥 (京都教育大学)
10:45~11:35	校長のリーダーシップ発揮を促進する制度的・組織的条件の解明と日本の改革デザイン(1) —スクールリーダーの職務環境・職務状況に関する全国調査報告— ○浜田博文 (筑波大学) ○諏訪英広 (兵庫教育大学) ○朝倉雅史 (早稲田大学) ○高野貴大 (筑波大学大学院生・日本学術振興会特別研究員) 安藤知子 (上越教育大学) 織田泰幸 (三重大学) 加藤崇英 (茨城大学) 川上泰彦 (兵庫教育大学) 北神正行 (国士舘大学) 佐古秀一 (鳴門教育大学) 高谷哲也 (鹿児島大学)
11:35~12:00	共同討議

6月8日(土) 9:00~12:00 会場：文系共同館2階 E 演習室+F 演習室

自由研究発表 5

司会 葛西耕介（愛知県立大学） 平井貴美代（山梨大学）

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	愛着に課題のある子どもの支援に関する研究（1） —学校における支援に関する制度的検討を中心に— ○長江綾子（広島大学研究員）
9:30~9:55	「子どもの貧困」緩和に向けた家庭教育支援チームを中心としたネットワークの構築 ○野村ゆかり（兵庫教育大学・修了生）
9:55~10:20	現代養護教諭を取り巻く諸問題の組織的理解 —組織機能の分化と統合の視点から— ○留目宏美（上越教育大学）
10:20~10:45	社会経済的背景の厳しい地域における「効果のあるコミュニティスクール」に関する研究 ○大林正史（鳴門教育大学）
10:45~11:10	学校統廃合がもたらす地方自治体の教育政策変容 ○廣谷貴明（東北大学大学院生） 青木栄一（東北大学）
11:10~11:35	保護者ネットワークと学校参加モチベーション ○露口健司（愛媛大学）
11:35~12:00	共同討議

6月8日(土)13:30~16:30

会場:IB 電子情報館2階 大講義室

公開シンポジウム

新学習指導要領のもとでの「教育課程経営」の理論的・実践的課題

[内容]

周知のように、これまで約十年に一度のテンポで学習指導要領の全面的な改訂は行われてきたが、今回は、従来までと同様、教育内容や方法において早い時期から大きな話題となって来ているのは確かであるものの、それにも増して私たちの教育経営学の分野において注目されるのは、何と云っても約六十年ぶりに「教育課程」が大きく位置づけられるようになったことであろう。

この度の学習指導要領の改訂作業の過程において、とりわけ教育課程企画特別部会で明確に語られていたように、今回の改訂は、これまでのように教育内容・方法の問題だけに留まるものではなく、まさに「教育課程」そのものの意義とその「経営」こそが最重要課題として浮上してきていることは看過出来ない。果たして、そうした議論が展開されるようになったのには、どのような背景が存在しているのか、興味は尽きない。

そもそも学習指導要領は、戦後初期から「教育課程の基準」として位置づけられ出発したことを考えると、一般的に単なる「教育内容」(や方法)を指し示したものに留まるはずもなく、常に学校の「教育課程」をどう構想し、教育活動をどのように展開していくのかという問題が問われ続けていたはずである。

しかし、それと同時に、今日、このように「教育課程」の「経営」が改めて議論の対象となる時代が訪れているにも関わらず、この間、注目が集まっているのは「教育課程経営」ではなく、やはり「カリキュラムマネジメント」論であるのも事実である。それは、一体何を意味しているのか。果たして、これらは同一のものと考えて良いのかどうかも問われている。

また、今回、「資質能力」論が提起されていることをはじめとして、新学習指導要領には、いくつかの重要な特徴が見られ、これまで長きにわたって「学習指導要領体制」と呼ばれてきたものとは、明らかに区別される興味深い内容が含まれていることも看過されるべきではない。そもそも、教育(内容・)方法学と教育経営学との狭間にありつつも、双方からの共同的なアプローチや議論が必ずしも積み重ねられて来なかった「教育課程経営」について、この機会に大いに議論することとしたい。

シンポジアストとそれぞれのタイトルについては、現段階では以下のようなものを予定している(仮題を含む)。

[シンポジアスト]

植田健男(花園大学教授・名古屋大学名誉教授) : コーディネーター

基調提案「今次学習指導要領改訂と『教育課程』の経営をめぐる論点」(仮題)

天笠茂(千葉大学特任教授)

「教育の内容、方法と組織をどう結合する—教育課程企画特別部会に参加して—」

石井英真(京都大学准教授)

「資質・能力ベースの改革とカリキュラム研究の課題—教育課程論的関心の再評価—」

首藤隆介(名古屋市立駒方中学校教諭)

「学校現場における『教育課程経営』の受け止めの現状と課題」

6月8日(土)16:45~17:45

会場:IB 電子情報館2階 大講義室

総会

※ご欠席の会員は、同封の葉書にある「委任状」に必要事項を記載の上、5月27日(月)までにご投函ください。

6月8日(土)18:15~20:00

会場:名古屋大学 南部生協 Mei-dining

懇親会

6月9日(日) 9:00~12:00

会場:教育学部1階 第1講義室

自由研究発表 6

司会 菊地栄治 (早稲田大学) 牛渡淳 (仙台白百合女子大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	教職キャリアを質的に測定する方法論開発 ○高木亮 (就実大学)
9:30~9:55	校長のカリキュラム・マネジメントと教科のカリキュラム・マネジメントがアクティブ・ラーニングの効果に与える影響 ○吉村春美 (立教大学) 木村充 (日本教育研究イノベーションセンター)
9:55~10:20	問題解決モデルを教員の自己申告に適用して学校経営方針を具現化する手法 ○小松広宣 (東京都江戸川区立小岩小学校)
10:20~10:45	全国都道府県教員育成指標からみたベテラン教員の学校運営での役割と新たな立ち位置 ○青木一 (信州大学)
10:45~11:35	教員育成指標の計量テキスト分析:47都道府県+20政令市を対象に ○櫻井直輝 (会津大学短期大学部) ○阿内春生 (福島大学)
11:35~12:00	共同討議

6月9日(日) 9:00~12:00

会場:教育学部1階 第2講義室

自由研究発表 7

司会 玉井康之(北海道教育大学) 木岡一明(名城大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	ミスコンセプションを軸にした学校臨床教科教育の試み ○滋野哲秀(龍谷大学)
9:30~9:55	英語を指導できる教員集団の育成 ○江口千穂(東京都墨田区立第二寺島小学校)
9:55~10:45	学校づくり論にみるデザインの原理に関する考察 ○曾余田浩史(広島大学) ○曾余田順子
10:45~11:35	『教師の思い』を起点とした授業づくりを通じた学校づくりの実践 ○阿尾剛(小野市立河合中学校) ○曾余田順子 曾余田浩史(広島大学)
11:35~12:00	共同討議

6月9日(日) 9:00~12:00

会場:教育学部2階 第3講義室

自由研究発表 8

司会 勝野正章 (東京大学) 高妻紳二郎 (福岡大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	校長のリーダーシップ研究の動向 ○西川潔 (関西福祉科学大学)
9:30~9:55	校長のリーダーシップにより「真正の学び」をどうデザインするのか: global, national, local な視点からみた日本の学校改善の効果を中心に ○小出禎子 (愛知工業大学)
9:55~10:20	教員以外の職を活用した学校改革 —イギリスの teaching assistant を事例として— ○植田みどり (国立教育政策研究所)
10:20~10:45	米国チャータースクールにおけるオーソライザーの質保証に関する研究 —The Minnesota Authorizer Performance Evaluation System(MAPES)に焦点を当てて— ○湯藤定宗 (玉川大学) 福本昌之 (大分大学) 諏訪英広 (兵庫教育大学)
10:45~11:35	学校管理職の専門性と育成システムに関する国際比較研究 —アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド— ○佐藤博志 (筑波大学) ○植田みどり (国立教育政策研究所) ○貞広斎子 (千葉大学) ○末富芳 (日本大学) ○高橋望 (群馬大学) ○照屋翔大 (茨城大学) ○西野倫世 (大阪産業大学)
11:35~12:00	共同討議

6月9日(日) 9:00~12:00

会場:教育学部2階 大講義室

自由研究発表 9

司会 服部憲児 (京都大学) 河野和清 (京都光華女子大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	指導主事の役割認識と自己認識との関係 —A県における指導主事への認識調査を踏まえて— ○鈴木久米男 (岩手大学)
9:30~9:55	アメリカ合衆国における教育長養成・免許資格要件の同質性・異質性 —予備的考察— ○八尾坂修 (開智国際大学・九州大学名誉教授)
9:55~10:45	教育長のリーダーシップに関する調査研究 ○藤原文雄 (国立教育政策研究所) ○露口健司 (愛媛大学) ○生田淳一 (福岡教育大学) ○山下絢 (日本女子大学) ○澤里翼 (法政大学・非常勤) 諏訪英広 (兵庫教育大学) 柏木智子 (立命館大学)
10:45~11:35	教育センター指導主事の資質・能力に関する調査研究 ○米沢崇 (広島大学) ○篠原清夫 (三育学院大学) ○中川恵実子 (滋賀県総合教育センター) 本山敬祐 (東北女子大学) ○脇本健弘 (横浜国立大学) ○藤原文雄 (国立教育政策研究所)
11:35~12:00	共同討議

6月9日(日) 9:00~12:00

会場:文系共同館2階 E 演習室+F 演習室

自由研究発表 10

司会 風岡治 (愛知教育大学) 安藤知子 (上越教育大学)

9:00~9:05	司会挨拶
9:05~9:30	学校事務職員のカリキュラム・マネジメント参画に関する研究 —若手学校事務職員の校内研修に焦点を当てて— ○鈴木敬 (千葉大学大学院生)
9:30~9:55	地域連携型キャリア教育の展開に関わる教育経営の課題に関する研究 —教育環境の構築を図る学校経営的観点から— ○山崎保寿 (松本大学)
9:55~10:20	「働き方改革」時代における新高等学校学習指導要領の実践 —教育産業界との連携に焦点を当てて— ○上野佳哉 (大阪府立今宮高等学校) 諏訪英広 (兵庫教育大学)
10:20~10:45	ポジティブアプローチとサーバントリーダーシップによる学校における働き方改革に関する研究 ○中村浩二 (名古屋市立東築地小学校)
10:45~11:10	精神疾患事由による病気休職者数と病気休暇者数との関係性考察 ○波多江俊介 (熊本学園大学) 川上泰彦 (兵庫教育大学) 妹尾渉 (国立教育政策研究所)
11:10~11:35	「日本型学校教育」の功罪 ～欲ばりな学校像を見直すことは可能か～ ○妹尾昌俊 (学校業務改善アドバイザー)
11:35~12:00	共同討議

6月9日(日)13:00～16:00

会場:教育学部 2階 大講義室

研究推進委員会企画 課題研究

「実践の学としての教育経営学研究の固有性を問う

——教育経営実践のリアリティにせまるとはということか」

司会 山下晃一(神戸大学) 畑中大路(長崎大学)

報告者 武井哲郎(立命館大学) 「多様な子どもと向き合う教育経営実践を対象化することの困難さ」

白井智美(大阪教育大学) 「教育経営実践の中での学校(実践)と研究者の関係性の再考」

末松裕基(東京学芸大学) 「「教育経営実践のリアリティにせまる」と問うことが教育経営学の固有性にとって何を(失うことを)意味するか」

* 報告タイトルは変更の可能性があります。

【課題設定の趣旨】

今期の研究推進委員会では、今後3年間の研究テーマとして次の3点を設定した(学会ニュース2018年度 第1号 元兼挨拶文 17頁参照)。

- ①実践の学としての教育経営学の「固有性」を追究する
- ②教育経営実践を科学することの妥当性、政治性を見定め、その可能性を模索する
- ③学問的越境も躊躇わず近接他領域との関係の中でその「外延」をも見極める

そこで本委員会の活動の1年目/3年は、①実践の学としての教育経営学の「固有性」を追究することを中心課題とし、特にサブタイトに示した「教育経営実践のリアリティに迫るとはということか」について議論を深めることとした。全国の学校・教室内外で行われている教育実践のリアリティを描こうとすれば、多様な特性や背景を有した子どもの存在に言及することは不可欠である。また、何が望ましい指導・支援なのかといった論争的課題についても不可避である。したがって、何が望ましい指導・支援なのか、さらに誰にとって有用な研究なのかといった問題を棚上げすることなく、教育経営実践のリアリティに迫ることは「実践の学」としての固有の意義をもつものの、それは研究者自身の価値判断が求められるなどの葛藤が伴う。そのような困難さについて武井委員に論じてもらう。つづく白井委員にはリアリティをどう読み取り丁寧に描くかではなく、どういう関わりの中でどの側面に研究上の価値を見出すか、当事者としての研究者の立ち位置・ポジションナリティ、研究対象である学校との関係性(いわば闘い)について論じていただく。最後に、末松委員にはそこに「在る」観察可能な対象ではなく、研究者の研究目的とその上での研究対象との関わりの中で位置付けられる流動的な一側面など「研究の強度」(説明力の深度、耐久性への意義)について論じていただく。3者の問題提起を契機に、教育経営学研究のリアリティをめぐるフロアとともに自由闊達な議論を深めたい(文責:元兼)

●研究推進委員会(2018年～2021年)

委員長:元兼正浩(九州大学) 副委員長:山下晃一(神戸大学) 委員:白井智美(大阪教育大学)

委員:末松裕基(東京学芸大学) 委員:米沢 崇(広島大学) 委員:武井哲郎(立命館大学)

委員:波多江俊介(熊本学園大学) 委員:畑中大路(長崎大学) 幹事長:榎景子(長崎大学)

事務局幹事:原北祥悟(第一工業大学)・小林昇光・鄭修娟・木村栞太(以上、九州大学大学院生)

6月9日(日)13:00～16:00 会場:文系共同館2階E 演習室+F 演習室

実践研究フォーラム

～教職大学院におけるスクールリーダー教育に関する構成原理の検討とプログラム開発～

【課題設定の趣旨】

各都道府県で、教員育成指標とりわけ校長に関する育成指標が設定されるなど、管理職養成に関する質の高い教育、研修に対するニーズが高まっている。日本教育経営学会(以下、「本学会」)でもすでに「校長の専門職基準」を作成し、それにもとづく教材や実践事例が報告されている。これらの状況ならびに学会活動をふまえて、教職大学院における学校管理職等のスクールリーダー教育の高度化、充実に対する検討、提言を行う。具体的には、「理論と実践の往還」という言説のレベルを越えて、教育経営に関する教職大学院レベルでのスクールリーダー教育の基本的な構成原理を検討し、具体的なプログラムの開発を行う。

このような本学会の研究動向とともに、全国の教職大学院では、学校経営、学校マネジメント、学校運営等の名称によるコースが開設され、独自の理念によるカリキュラム開発及び教育実践が展開されている。そして、教職大学院と教育委員会等との連携・協働によるスクールリーダーの養成・研修事例も増えてきている。このことに関して、中央教育審議会答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」(2015年12月)では、「教職大学院において、管理職コースを設置することや、教育委員会との連携による管理職研修を開発・実施することを検討」することが提言された。これらの動向は、スクールリーダー教育の量的拡大という流れの中で、教職大学院がスクールリーダー教育の中心的役割を担うことが期待されていることを意味する。

現在、本学会の多くの会員が教職大学院におけるスクールリーダー教育を担っており、今後さらに担うことが期待される。本学会が学会として、問題提起や情報発信といった社会的責任を果たすことが要請されていると言えよう。一方で、会員がスクールリーダー教育者として担う役割とは何か、そもそもスクールリーダーとは何か(「これからの学校の新しいスクールリーダー像」とは?)、スクールリーダーを育成・教育するとはどういうことか、育成・教育の方法はどのようなものか、その時、いかなる原理や哲学に拠ってそれが成立し得るのかなど、会員が共通に有すべき視座、知識、枠組みは何であろうか。そのような問いに丁寧に応える議論と具体的提案が必要ではないだろうか。

以上の問題意識に立ち、本委員会は、前記した本学会の研究と実践を踏まえ、教育経営に関する教職大学院レベルでのスクールリーダー教育の基本的な構成原理と具体的な教育内容、カリキュラム等の開発に取り組む。そして、この取り組みが、各教職大学院の置かれた文脈・状況の中でスクールリーダー教育を展開していく上での「参照」対象となり得ることを目指す。

そこで、フォーラム1年目においては、わが国の大学院、特に教職大学院におけるスクールリーダー教育の展開過程(研究・実践の両面)のレビュー、全国教職大学院におけるスクールリーダー教育の提供実態の把握、国内外のスクールリーダー教育の具体事例の紹介に基づき、参加者の方々とのディスカッションを通して、今後、本委員会(学会)が取り組むべき方向性とその内容等について示唆を得たい。

司会:牛渡 淳(仙台白百合女子大学) 大竹 晋吾(福岡教育大学)

報告1「スクールリーダー教育に関する研究レビュー」 安藤 知子(上越教育大学)

報告2「スクールリーダー教育の提供実態と特徴」 高谷 哲也(鹿児島大学)

報告3「スクールリーダー教育に関する国内の動向—岐阜大学を事例として—」 棚野 勝文(岐阜大学)

報告4「スクールリーダー教育に関する海外の動向—ニュージーランドを事例として—」

福本 みちよ(東京学芸大学)

※報告タイトルが変更される場合もある。

第66回 日本PTA全国研究大会 新潟大
第50回 日本PTA国産アロッド研究大会



公益社団法人 日本 PTA 全国協議会

日本PTA創立70周年記念大会
主催 公益社団法人日本PTA全国協議会



全国大会・表彰

家庭教育及びPTA活動の資質向上に資するため、全国から8千人以上の会員が集い、現在の子どもたちを取り巻く環境について、学び高め合います。PTA活動の資質向上及び活性化のため、顕著な業績をあげた団体及び個人を表彰します。

調査研究・広報

子どもたちの健全育成及び福祉の増進のため、子どもを取り巻く社会環境や、教育改革についての保護者の意識調査などの調査研究を実施し、その成果を広く情報提供しています。

国際交流・教育助成

国際社会で活躍できる、次代を担う人材を育成するため、全国の中学2年生を対象とした交流や研修を実施します。災害の被害を受けた子どもたちの心身と健全な成長を図るため、助成活動を行います。

出版書籍

悩み解決 PTA応援マニュアル

家庭教育 PTAわが家の子育て

調査研究 教育・メディア調査研究

防災 PTA防災事例集

いじめ対策

日本PTAは「いじめ根絶」と「いのちの大切さ」を訴え、保護者の責務の周知に努めます

【改定版】今すぐ！家庭でできる
いじめ対策ハンドブック ¥100+税



お問い合わせ

公益社団法人
日本PTA全国協議会

〒135-0061

東京都港区赤坂7-5-38

TEL 03-5545-7151

<http://www.nippon-pta.or.jp/>





露口 健司 編著

ソーシャル・キャピタルで解く教育問題

本書は、教育問題をつながり問題と捉えた上で、これまで提案されてきたソーシャル・キャピタルの視点に立つ教育問題解決アプローチを概観する。さらに、現在わが国で課題となっている教育問題、具体的には、「地域再生・地域活性化」「子どもの貧困と不平等・格差」「教員や成人の幸福」に関する3つの教育問題について、ソーシャル・キャピタルの視点からの分析・考察を行い、実践的示唆を得ることを目的とする。

定価2,592円(本体2,400円+税) A 5判252ページ ISBN978-4-909124-24-1 C3037

八尾坂 修 編著

新時代の教職概論 —学校の役割を知る 教師の仕事を知る—

時代を超えて変わらない価値のあるもの(「不易」)の学習を基調としつつ、時代の変化とともに変えていく必要があるもの(「流行」)について学ぶことも重視し、最新の教育改革や調査研究、課題事例等を取り上げた。学校・教師の全体像を捉えることに主眼を置き、難解な表現を使わず、各章を読めば専門用語の意味・内容が理解できるように工夫。各章末の「演習課題」は授業のアクティブ・ラーニング化に有効性をもつ。

定価1,836円(本体1,700円+税) A 5判208ページ ISBN978-4-909124-19-7 C3037



篠原 清昭 編著

教育の社会・制度と経営

第二次安倍政権以降の教育行政のしくみや社会情勢の変化など最新の教育動向について図表を多用して詳説する。内容を総論(理論、第1章～第5章)と各論(課題事例、第6章～第15章)に分け、各論に現在の教育の社会・制度と経営のトピカルでカレントな事象を取り上げてケースメソッドとして設定。教育の社会・制度・経営の方向性を自ら考察するなど学生の批判的思考や課題解決的な学習を呼び起こすことを企図した。

定価2,376円(本体2,200円+税) B 5判240ページ ISBN978-4-909124-15-9 C3037



横須賀 薫 監修 渋谷 治美・坂越 正樹 編著

概説 教職課程コアカリキュラム

2019年度からの新たな教職課程について理解を深めることができるよう教職課程コアカリキュラムを詳説する。制度の概括的説明と教職課程運営との関連を述べた上で、各事項におけるコアカリキュラムの内容とそこに至る考え方、さらに、理念を反映した授業の内容例や各執筆者の考えるシラバス例を紹介する。教職課程カリキュラムの立案と授業の実施に向けて必携の一冊。

定価3,240円(本体3,000円+税) B 5判234ページ ISBN978-4-909124-10-4 C3037



お申し込みは書店または下記発行元までご連絡ください。

発行元 株式会社 ジダイ社

〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町4-17-1-204

TEL: 048-711-1802 FAX: 048-711-1804

エッセンスシリーズ

The Essentials Series

好評
発売中

教職課程におけるテキストとして幅広くご活用頂いております。

新訂版 教育法規エッセンス

— 教職を志す人のために —

B5判 130頁 定価 1,900円+税

監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)
著者/九州大学大学院教育法制研究室

新訂版 特別活動エッセンス

— 望ましい人間関係づくりのために —

B5判 120頁 定価 1,905円+税

監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)
著者/九州大学大学院教育法制研究室

子ども論エッセンス

— 教育の原点を求めて —

～すべての子どもに権利・人権を保障するとは～

B5判 130頁 定価 1,900円+税

監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)
著者/九州大学大学院教育法制研究室+哲史研究室

教職論エッセンス

— 成長し続けるキャリアデザインのために —

B5判 210頁 定価 1,900円+税

監修/元兼 正浩(九州大学大学院教授)
著者/九州大学大学院教育法制研究室

次世代スクールリーダーのための ケースメソッド入門



A5判 220頁 定価 2,000円+税
日本教育経営学会実践推進委員会 編

学校組織が日常的に直面する21事例(「校長の専門職基準」準拠)を用いて、スクールリーダーとしての意思決定を疑似体験し、経営判断能力を育成できるケース事例集です。回答例の他に、日本教育経営学会実践推進委員らによるコメントで、決断のための視野を広げます。キーワード解説やコラムも掲載し、自己啓発書としても活用できます。

次世代スクールリーダーのための 「校長の専門職基準」



A5判 248頁 定価 2,000円+税
日本教育経営学会実践推進委員会 編

校長職が専門職であるためには、求められる専門的力量的内容を明確にし、資格・養成・研修等の制度を確立する必要がある。([2009年版]はじめにより)第1期～第III期実践推進委員会の手による日本教育経営学会「校長の専門職基準」の解体新書。



専門職としての校長の力量形成

A5判 300頁 定価 3,500円+税

牛渡 淳・元兼 正浩 編

日本教育経営学会が2009年に作成した「校長の専門職基準」を踏まえて、新たなスクールリーダー教育の可能性を理論的・実証的に探る。

第1部 専門職としての校長職の検討、第2部 スクールリーダーとしての力量開発、第3部 校長の力量形成環境の整備で構成された渾身の1冊。

花書院
図書出版

〒810-0012 福岡県福岡市中央区白金2丁目9番2号
TEL.092-526-0287 FAX.092-524-4411

「学校の自律性」と校長の新たな役割

著：浜田 博文（筑波大学教授）

アメリカの先行事例を幅広く扱い、「経営責任者」としての新しい校長像を具体的に提示する。教育関係者必読の一書！

ISBN：9784901253932 A5判 定価（¥3,800+税）



総合的学習の指導法

編：子どもの遊びと手の労働研究会

総合的学習が登場して10数年。総合的学習の時間の授業をゼロからつくり、総合的学習を10倍楽しむことをねらいとして本書を作成！

ISBN：9784863591691 A5判 定価（¥1,400+税）



何が教育思想と呼ばれるのか

著：田中 智志（東京大学教授）

カント、ニーチェ、ハイデガー、レヴィナス、デュエイを読み解いて教育の根源を問い、新たな学びの地平を指し示す意欲的な論考！

ISBN：9784863591271 A5判 定価（¥2,600+税）



授業が楽しくなる生活科教育法

著：鈴木 隆司（千葉大学教授）

これまでの生活科教育法のテキストと様相を変え、子どもの学びや教師の悩みに応えるかゆいところに手が届くユニークな一冊！

ISBN：9784863591684 A5判 定価（¥2,400+税）



教育の知恵 60 教師・教育者を励まし勇気づける名言集

編著：大沢 裕（松蔭大学教授）

吉田松陰ら、国内外の教育家 60 名の名言がちりばめられており、疲弊した現代の教育現場の先生方の精神的支柱を見つけられる一書。一人の人物につき 1 つの言葉を易しく解説。

ISBN：9784863591875 A5判 定価（¥1,700+税）



ゼロからの生活科入門

編著：鈴木 隆司（千葉大学教授）

生活科には通常の教科とは違った疑問や悩み、期待があり、そんな疑問と期待に応える、現代っ子のリアルな姿が分かる新しいタイプの入門書。

ISBN：9784863591820 A5判 定価（¥1,833+税）



（新・教職課程シリーズ）教育の経営・制度

監修：田中 智志（東京大学教授）・橋本 美保（東京学芸大学教授）

編著：浜田 博文（筑波大学教授）

「学校の自主性・自律性の確立」が要請される近年の諸動向を踏まえ、学校経営に関する基礎知識に重点を置いた一書。

ISBN：9784863590670 A5判 定価（¥2,200+税）



ともに考え深めよう！ 新たな道德教育の創造

監修：谷田貝 公昭（目白大学名誉教授）

大沢 裕（松蔭大学教授）

道德教育の理論・方法・実践の3部構成で、教育現場（研修・免許状更新講習等）でも活用できる道德教育テキスト。

ISBN：9784863591882 A5判 定価（¥2,000+税）



〒160-0014 東京都新宿区内藤町1-6 TEL：03-5312-8890 FAX：03-5312-8895

一藝社では、自費出版・テキスト製作等、書籍執筆のご相談も承っております。是非、お問い合わせ下さい。

検索

一藝社



http://www.ichigeisha.co.jp/

日本教育経営学会創立60周年記念出版

講座 現代の教育経営〈全5巻〉

日本教育経営学会編
●A5判/上製



<2018年6月刊行>

戦後教育システムの重大な転換期にある1990年代後半以降20年間の教育経営学における諸研究について、日本教育経営学会の研究知見に基づきわかりやすく論じる。学校・家庭・地域における協働が求められるこれからの教育経営に携わる全ての関係者必読のシリーズ。

- | | | |
|-------------------|----------------------|---------|
| 1 『現代教育改革と教育経営』 | （編集委員）浜田博文・勝野正章・山下晃一 | 2700円+税 |
| 2 『現代の教育課題と教育経営』 | （編集委員）天笠茂・玉井康之・南部初世 | 2900円+税 |
| 3 『教育経営学の研究動向』 | （編集委員）林孝・水本徳明・貞弘斎子 | 2400円+税 |
| 4 『教育経営における研究と実践』 | （編集委員）牛渡淳・佐古秀一・曾余田浩史 | 2500円+税 |
| 5 『教育経営ハンドブック』 | （編集委員）北神正行・本園愛実・元兼正浩 | 2000円+税 |

学校づくりと学校経営

小島弘道 監修
小島弘道・勝野正章・平井貴美代 著

184頁
2800円+税



早稲田教育叢書 37

学校マネジメントの視点から見た学校教育研究

優れた教師を目指して
三村隆男 編

280頁
2800円+税



未来の教育を創る教職教養指針 5 教育の法制度と経営

<近刊> 今秋 刊行予定

勝野正章 編著
山崎準二・高野和子 編集代表

174頁
2800円+税



教師のための教育学シリーズ 4

教育経営論

教師のための教育学シリーズ編集委員会 監
末松裕基 編著

224頁
2800円+税



〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
http://www.gakubunsha.com

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
E-mail: eigyo@gakubunsha.com



介護等体験ガイドブック
フィリア
[新学習指導要領(平成29年公示)版]
編著：全国特別支援学校長会

ISBN978-4-86371-447-2 A 5判 264頁 本体1,300円+税

特別支援学校での介護等体験の必携書が「新学習指導要領(平成29年公示)版」として増補・改訂。新学習指導要領実施に向けて「学習指導要領改訂」の経緯や背景、新学習指導要領自体の概要などを盛り込み、特別支援教育の生涯学習化、学校での医療的ケアに関する内容も加えた。介護等体験の前に一読してほしい一冊。



特別支援学校のすべてがわかる
教員をめざすあなたへ
監修：宮崎英憲
編著：全国特別支援学校長会

ISBN 978-4-86371-407-6
B 5変形判 188頁 本体2,000円+税

教師をめざす方に向けて、特別支援学校の教師の魅力を伝えるべく作成された。各障害種の学校はもちろん、「具体的なイメージが持てるように」と実際の特別支援学校の教育活動の様子をDVDに収録し、スライドで紹介している。この1冊で特別支援学校のすべてがわかる。



幼稚園・小中高等学校における特別支援教育の進め方⑥
**「個別の教育支援計画」
「個別の指導計画」の作成と活用**
編著：全国特別支援教育推進連盟

ISBN978-4-86371-439-7 A 5判 196頁 本体2,000円+税

シリーズ第5弾。現在、幼稚園、小学校、中学校、高等学校においては、個々の幼児児童生徒の障害の状態等に応じたきめ細かな指導を行うために、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を作成・活用した指導が進んできている。通常の学級、特別支援学級、特別支援学校の「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の作成・活用の状況をまとめた。「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の書式を掲載しているほか、具体的な記載例も参考になる。



合理的配慮ハンドブック
～障害のある学生を支援する教職員のために～
編著：独立行政法人日本学生支援機構

ISBN978-4-86371-492-2 B 5判 252頁 本体2,300円+税

障害のある学生の周りでよく聞く「合理的配慮」とは？合理的配慮を理解するための解説と関連法令を1冊にまとめた唯一無二の必携ハンドブック。障害のある学生を支援する教職員はもとより、大学など高等教育機関への進学を考える方の保護者、進路指導の教員、これから学生として学ぶ方などに役立つ情報をコンパクトに提供。



ジアース教育新社

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-23 宗保第2ビル
電話 03-5282-7183/FAX 03-5282-7892
E-mail : info@kyoikushinsha.co.jp URL http://www.kyoikushinsha.co.jp/

日常でよく使われる用語を収録し、
多くの用語を示した表記辞典の決定版

用字用語 新表記 辞典

新訂四版

天沼 寧・加藤彰彦 編

B6判・816ページ・並製・ケース入 定価：本体1,700円+税

- 国語表記の目安となる内閣告示、通知・通達及び文部科学省資料等に基づいて編集した、現代日本語を書くための表記辞典の決定版です。
- 見出し語には、現代表記に必要な約2万6千語を収録し、それぞれに豊富な用例を掲げ、さらに参考表記、言い換え、公用文の表記等を示しました。特に公用文の表記については注釈等も充実、実務の必携書です。



学校経営に関するトラブル対応を
法的根拠に基づき解説!

学校経営の 危機管理

—トラブル対応と法的解説—



編集代表：天笠 茂・加藤崇英

加除式・B5判・全2巻 定価：本体12,000円+税

- 学校で実際に起きた事例や発生が予想されるトラブル事例を題材に、教育現場の視点から具体的な対応策をQ&A形式で解説!
- 災害：管理職不在時に地震が起きたら?
- 職場：教職員の多忙感を解消するには?
- いじめ：警察への通報の留意事項とは?

商品の詳細、お申込みは



第一法規

検索



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
http://www.daiichihoki.co.jp

ご注文はWEBからも承ります。

Tel. 0120-203-694

Fax. 0120-302-640

変わる学校、変わらない学校 実践編(II)

先生がつぶれる学校、先生がいきる学校

働き方改革とモチベーション・マネジメント



●妹尾昌俊／著 A5判 176ページ

定価(本体一八〇〇円+税) ISBN9784761912499

「働き方改革」で学校をより働きがいのある職場に!

教職員のモチベーションを上げる事例や、学校が「チーム」になるには何が必要かという考察、さらに教職員の長時間労働について問いかけながら、労働環境の向上のために、学校で、今できることを提案する、「働き方改革」の時代に必携の1冊です。

対象：小・中・高校管理職

学校講話を通して校長力を高める

月刊プリンシパル

●毎月13日発売 A5判

定価(本体七四〇円+税) 年間誌代二七〇四円(税込)(増刊2冊含む)

小学校・中学校の校長先生に向けた、学校講話と校長学の専門誌。講話や話を豊富に収録し、同時に、校長に必要な知識や情報も満載。校長としての力量を総合的に高めることのできる雑誌。

対象：小・中管理職

高等学校管理職に向けた唯一の専門誌

月刊高校教育

●毎月13日発売 B5判

定価(本体九五〇円+税) 年間誌代一四六三四円(税込)(増刊2冊含む)

高校教育の課題を鋭く追求し、学校づくりの考え方と事例を満載した、高等学校管理職必携の雑誌。

対象：高校管理職

高校の授業研究と教育課程の編成実施のために

中等教育資料

●毎月28日発売 B5判

定価(本体六六〇円+税) 年間誌代八五五六円(税込)

文部科学省教育課程編集。中学・高校での授業の実践や校内研究に必要な不可欠な理論・実践事例を豊富に紹介。

対象：中学・高校教師

ホームページからもご注文できます <http://www.gakuji.co.jp>

学事出版 ご注文は、お近くの書店か小社へ TEL03-3253-4626 FAX0120-655-514

成功事例に学ぶ カリキュラム・マネジメント の進め方

最新刊!

生徒の
授業満足度
95%

英検準2級
取得率
85%

学力調査
正答率
90%



なぜ学力は飛躍的に向上したのか?
なぜ学校はそれを実現できたのか?

★3年で学力を飛躍的に伸ばすカリマネの秘訣!
★カリキュラム全体と各教科の授業づくりを詳細に解説!

[共著] 高橋正尚・小藤俊樹 A5判/224頁/定価(本体2,300円+税)

教育開発研究所 113-0033 東京都文京区本郷2-15-13 TEL:03-3815-7041

学校運営

全国公立学校教頭会
編集・発行

この機会にぜひ
定期購読を!

全国公立学校教頭会が編集する
教頭・副校長自身による月刊職能研修誌

■年間基本方針

学校管理職としての教養を核に

1. 国民としての教養
2. 教師・教育者としての専門性
3. 教育管理職としての文化的な教養

■編集方針

- (1) 教頭としての学校経営の基本理念とその実践を集録する
- (2) 教頭の専門性を培うための資料を提供する
- (3) 全国的、世界的視野に立つ研究物を提供する
- (4) 地区教頭会の交流を図る

購読料 月刊(年12冊)
毎月送付

※2019年4月号より

◆個人購読
(年額 3,720円)

◆地区一括購読
(年額 3,240円/人)



申込先: (株)学校運営研究会

〒192-0153 東京都八王子市西寺方町1019-229

電話:042-652-0141 FAX:042-652-0129 Eメール: guk1main@yahoo.co.jp

教育学関係学術図書のご案内

価格は税別。

教育経営における責任・統制構造に関する研究

三浦 智子著 7500円

我が国における教育経営の統制と責任の構造について実態を解明。学校の「アカウンタビリティ」の保障を図る上で、その構造が抱える課題について検討を試みる。

コミュニティ・スクールの全貌

佐藤晴雄編著 4000円

コミュニティ・スクールの活動実態や校長の意識を明らかにした最新の調査を取り上げ、その有効性と課題を考察。今後の政策・実践や研究に資するデータを示した。

教育における指導ラウンド ―ハーバードの挑戦―

R.エルモア・L.テイテル他著 八尾坂修監訳 2800円

「指導ラウンドネットワーク」と呼ばれる新たな学びの方法を開発。「質の高い効果的な指導」についての共通認識を育み、組織的能力を高めるプロセスを紹介。

日本における高齢者教育の構造と変遷

久保田治助著 6500円

近代以降の日本高齢者教育の変遷を、各時代の社会状況と高齢者像をもとに考察。戦後の高齢者教育の構造と展開を学習理念と学習内容を中心に分析した新著。

マクマリーのタイプ・スタディ論の形成と普及

藤本 和久著 12000円

米国ヘルバート主義運動の担い手の一人、マクマリーのタイプ・スタディ概念の使用文脈の変遷を明確化。カリキュラム論や教授理論そのものの質的転換を捉える。

米国公立学校教員評価制度に関する研究

藤村 祐子著 7000円

本書は、アメリカの教員評価制度について、歴史的な変遷を踏まえた上で形成的機能に注目し、成立・展開過程、実施状況を解明した好著。

教員自主研修法制的展開と改革への展望

久保富三夫著 11500円

前者「戦後日本教員研修制度成立過程の研究」を基盤に、戦後自主研修法制的展開を歴史的・原理的・総合的に考察。「学び続ける教員像」実現のための著者渾身の提言。

社会教育主事に求められる役割

桜庭 望著 6500円

歴史的背景から社会教育主事制度の変遷を辿り、所属組織やキャリアが資質・能力獲得に与える影響を実証的に研究。今日の社会教育主事に期待される姿を論ずる。

学校秩序回復のための生徒指導体制モデル

石黒 康夫著 2800円

学校の秩序を回復した実践の中から共通に見られる要素を抽出し、回復に有効な生徒指導体制モデルを作成。管理職と教師・教師と子どもとの協働関係を視野に入れる。

戦後日本教員養成の歴史的研究

土屋 基規著 14000円

戦後日本の教員養成改革理念の成立と制度原則の展開を歴史的に記述した著者長年にわたる研究の集大成。巻末に戦後日本教師教育問題年表を付す。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風間書房

(URL) <https://www.kazamashobo.co.jp>
メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp

◇最新刊

子どものために「ともに」歩む学校, 「ともに」歩む教師を考える

編著／林 孝・米沢 崇・諏訪英広

著／湯藤定宗・岡東壽隆・福本昌之・長江綾子・藤井 瞳・矢藤誠慈郎・中村卓夫・
別惣淳二・曾余田浩史・中坪史典

A 5 判・206頁 本体価格：2000円

これからの学校のあり方を「ともに」の視点で考える

好評既刊

★教育制度と教育の経営

学校—家庭—地域をめぐる教育

●現場と結ぶ教職シリーズ 5巻

諏訪英広・福本昌之 編著

A 5 判並製・208頁 本体価格：2000円

★学習に何が最も効果的か

メタ分析による学習の可視化：教師編

原田信之 監訳

A 5 判並製・350頁 本体価格：2800円



あいり出版

〒600-8436 京都市下京区室町通松原下る元両替町

259番1 ベラジオ五条烏丸305

TEL & Fax. 075-344-4505

<http://airpub.jp/>

第48回 教育展望セミナー

■大会主題：これからの時代に向けた教育の改革と創造
—AIの時代を視野に入れた教師力—

■日程：2019年8月5日(月)、6日(火)

【8月5日(月) 全体会】

- ・教育講演：福岡伸一（青山学院大学教授）
- ・パネルディスカッション：「AIやソサエティ5.0の時代を踏まえて学校はどう変わるべきか」

【8月6日(火) 分科会】

- ・第1分科会（経営部会）
テーマ1：カリキュラム・マネジメント力を高める人材育成の在り方
テーマ2：カリキュラム・マネジメントを充実させる業務改善の在り方
- ・第2分科会（小学校部会）
テーマ3：主体的な学びを深める個に応じた学習指導の工夫
テーマ4：集団での対話的な学びを深める学習指導の工夫
- ・第3分科会（中学校部会）
テーマ5：集団での対話的な学びを深める学習指導の工夫
テーマ6：主体的な学びを深める個に応じた学習指導の工夫

■会場：アルカディア市ヶ谷（私学会館）
（JR・地下鉄市ヶ谷駅下車、徒歩2分）

■参加費
2日間：14,400円、1日のみ：9,300円（含資料代）

■お申し込み
ご参加には事前のお申し込みが必要です。ご希望の方は当研究所まで、開催案内をご請求ください。

月刊「教育展望」

毎月1日発行
A5判, 448円+税

2019年 特集

- 6月号 新学習指導要領における学習評価について
- 5月号 主体的・対話的で深い学びが授業を変える
- 4月号 カリキュラム・マネジメントが学校を変える
- 3月号 資質・能力を伸ばす評価活動
- 1・2月号 『教育展望』創刊700号を語る

2018年 特集

- 12月号 第47回教育展望セミナー 分科会報告
- 11月号 第47回教育展望セミナー 全体会報告
- 10月号 教育の情報化の動向と課題
- 9月号 巨大地震に備える防災教育の視点
- 7・8月号 改めて問う、深い学びとは
- 6月号 学校における働き方改革を探る
- 5月号 子どものいじめ・自殺問題と学校教育
- 4月号 新しい学校文化の創造
- 3月号 新学習指導要領から見える新しい授業像

「教育展望」臨時増刊 セミナー研究討議資料
A5判, 2,381円+税

- No.50（第47回教育展望セミナー）2018年7月発行, 124ページ
資質・能力を育成する教育課程の編成と実施II
- No.49（第46回教育展望セミナー）2017年7月発行, 124ページ
資質・能力を育成する教育課程の編成と実施
- No.48（第45回教育展望セミナー）2016年7月発行, 124ページ
これからの時代に求められる資質・能力～学校教育の質を問う～

日本教育経営学会第 59 回大会プログラム

発行日：2019 年 5 月 7 日

編集：日本教育経営学会第 59 回大会実行委員会

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育経営学研究室内

日本教育経営学会第 59 回大会実行委員会事務局

委員長：植田健男（花園大学・名古屋大学名誉教授）

委員：南部初世（名古屋大学）

石井拓児（名古屋大学）

木岡一明（名城大学）

小出禎子（愛知工業大学）

首藤隆介（名古屋市立駒方中学校）

田中秀佳（名古屋経済大学）

橋本洋治（日本福祉大学）

濱口輝士（名古屋文理大学）

武者一弘（松本大学）

大学の組織とガバナンス

〔高等教育研究論集第1巻〕

羽田貴史著

A5判・上製・三三六頁・三五〇〇円

世界の大学と比べ遅れを取っている日本の大学は、研究の質的・量的劣化と大学の組織運営に問題がある。本書は大学の組織・運営と大学人論等の多様な視点から切り込んだ、第一級の大学組織・ガバナンス研究である。大学学長や理事をはじめ、関係者必読の高等教育研究論集第1巻。

大学経営・政策入門

重版出来！

東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策コース編著

A5判・並製・二七二頁・二四〇〇円

長期学外学修のデザインと実践

―大学生をアクティブにする―

澤邊潤・木村裕斗・松井克浩編著

A5判・上製・三三六頁・三二〇〇円

大学におけるライティング支援

―どのように書く力を伸ばすか―

関西大学ライティングラボ・津田塾大学ライティングセンター編

A5判・並製・二四〇頁・二四〇〇円

グローバルに問われる日本の大学教育成果

加藤真紀・喜始照宣著

A5判・上製・二二六頁・二八〇〇円

大学教育における高次の統合的な能力の評価

―量的VS質的、直接VS間接の二項対立を超えて―

齋藤有吾著

A5判・上製・一八四頁・二八〇〇円

アメリカの大学の豊かさや強さのメカニズム

―基本財産の歴史、運用と教育へのインパクト―

長野公則著

A5判・上製・四六四頁・四六〇〇円

米国高等教育の拡大する個人寄付

福井文威著

A5判・上製・三二二頁・三六〇〇円

大学教学マネジメントの自律的構築

―主体的学びへの大学創造二〇年史―

関西国際大学編

A5判・上製・三四四頁・二八〇〇円

学修成果への挑戦

―地方大学からの教育改革―

濱名篤著

四六判・上製・二八〇頁・二四〇〇円

文部科学省の解剖

青木栄一編著

A5判・上製・三二二頁・三二〇〇円

幹部職員に対する初となるサーベイ、文科省と官邸・他省庁・地方自治体との関係、庁舎内の部署配置・執務室内の座席配置分析といった行政学的分析を通じて、文部省/科技庁の統合後のガバナンスの行方等、文科省の組織構造からアプローチした初の本格的実証研究。

検証 国立大学法人化と大学の責任

―その制定過程と大学自立への構想―

田中弘允・佐藤博明・田原博人著

A5判・上製・五二八頁・三七〇〇円

国立大学職員の人事システム

―管理職への昇進と能力開発―

渡辺恵子著

A5判・上製・三六〇頁・四二〇〇円

イギリス大学経営人材の養成

高野篤子著

A5判・上製・一五二頁・二七〇〇円

アメリカ大学管理運営職の養成

高野篤子著

A5判・上製・二六四頁・三二〇〇円

21世紀の大学：職員の希望とリテラシー

寺崎昌男他編著

四六判・並製・三三六頁・二五〇〇円

大学経営とマネジメント

新藤豊久著

A5判・上製・二五六頁・二五〇〇円

大学戦略経営の核心

篠田道夫著

A5判・上製・三八四頁・三六〇〇円

戦略経営III大学事例集

篠田道夫著

A5判・上製・三九二頁・三六〇〇円

英国の教育

日英教育学会編

A5判・上製・二二八頁・三四〇〇円

アメリカ学校財政制度の公正化

竺沙知章著

A5判・上製・三二八頁・三四〇〇円

アメリカにおける学校認証評価の現代的展開

浜田博文編著

A5判・上製・二〇〇頁・二八〇〇円

新刊

詳細なグロスサリ！索引、豊富な写真、図版など
読者に便利な工夫満載の最新コンパクトな読む事典。